

那須 英二

議員

日本共産党  
弥富市議団

早急な防災計画と  
防災・災害時の対策を

問

(1) 機構改革により4月から防災安全課が危機管理課となるが、今までとどう違うのか。

(2) 避難所が、まだ足りていないがどうしているのか。  
(3) 橋の補修の計画は、現在どのようになっているか。

(4) 耐震の済んでいるマンションの3階以上に住んでいる人は、2階しかない屋上の避難所に行くよりも自宅の方が安全ではないか。

本日に避難が必要な人数を把握した上で、市民がどこへ避難すべきか明確に分かることが重要と考えるが、どうか。

(5) 屋上へ避難した場合、救助が来るまでどれくらいかかるのか。

震災の教訓を活かし、市民と防災意識を共有し、対応を強化する

答 総務部長

(1) 担当課が不明、または部をまたぐ対応が必要な不測の事態に、迅速に全庁的な危機管理体制の強化を目的として設置した。

(2) 津波、高潮緊急時避難場所の確保として、新白鳥

保育所、白鳥小学校の整備を進め、弥生小学校、十四山保育所の整備も27年度に計画している。

答 開発部長

(3) 橋梁は5年に1度計画的に定期点検、診断を実施している。市が管理する橋のうち、長さ2メートル以上の橋梁は、計画的に点検・診断を進め、補修が必要となった場合、速やかな対応を行っている。

答 総務部長

(4) マンションの上層階に住んでいる方の人数は把握していないが、どこに避難したらよいかを把握している。日ごろからの備えている。日ごろからの備えている。緊急時避難場所の確認や避難経路の確認をしていただくようお願いしたい。

(5) 災害の程度にもよるが、自衛隊の救助活動は、1日から3日开始されると聞いている。

答 市長

(6) 一時的な避難場所に対して、各自が事前に準備することの重要性は、東日本大震災で私たちが教訓として学んだことであり、出前講座では、このことについて集中的にお話させていただいた。

答 総務部長

(7) 伊勢湾台風での堤防締め切りに要した期間は45日間、その後、排水に要した期間は19日間で、合計64日間を要した。

東海ネーデルランド高潮・洪水地域協議会では、堤防仮締め切り、排水作業に要する日数を最大で12日間と見込んでいる。

浸水被害があった場合に市域外へ広域避難が必要になることを想定して、広域避難を模索している。

市民に安心してもらえるまで  
防災対策優先の予算配分を

問

(1) 中期財政計画の中で、財政が厳しいと言っておきながら、13億円の運動公園を造るといふことであ

るが、一体どこからどうした財源が出てくるのか。

(2) 防災対策が、ある程度市民に安心を持ってもらえるまで防災優先の予算配分にしていただきたいが、どうか。

防災・減災対策を進めながら  
運動公園の計画も進めていきたい

答 市長

(1) 国土交通省所管の社会資本整備総合交付金を活用する予定で、土地取得は3分の1、施設工事費は2分の1の補助が得られる。より有利な制度を使いながらこの計画を進めていきたい。

(2) これまでも相当なスピードで優先的に防災・減災対策をやってきた。まだまだ不十分とは思いますが、防災・減災対策を計画的に進めていくことと同時に、運動公園の計画を進めていくこともご理解をいただきたい。